

特任研究員の募集 (研究推進機構 LAC-SYS 研究所)

当研究所では「光の力」や「光の熱」が引き起こす流れを巧みに利用した光濃縮により、多種多様な生体サンプルの機能を遠隔的かつ非破壊に計測・制御する「光誘導加速システム (Light-induced Acceleration System; LAC-SYS)」の研究開発を世界に先駆けて推進し、食品検査・臨床検査・医薬品開発・環境技術・エネルギー変換など 21 世紀の様々な社会的課題の解決への貢献を目指します。当研究所は 2021 年 6 月より JST 未来社会創造事業「共通基盤」領域の本格研究課題である「低侵襲ハイスループット光濃縮システムの開発」を推進しています。

この度、特任研究員の募集を行うことになりましたので、下記によりご応募いただきますようお願いいたします。

記

1. 募集人員

特任研究員 1 名

2. 業務内容

理系の大学、大学院を卒業している、もしくは着任までに卒業見込みの方。特に、分析化学、生物化学、物理化学、光科学のいずれかの分野の経験者であることが望ましい(実験・理論の両方を募集)。特に、異分野融合、分野横断研究に意欲のある人材を募集します(企業経験者、博士号取得予定の D3 も可)。

[試用期間 3 か月を設けます。]

3. 応募資格

- 1) 生物化学、分析化学、物理化学、光科学のいずれかの関連分野で学士、もしくは修士を取得し、上記関連分野での業務経験のある方(博士号取得者が好ましい)。
- 2) HPLC、ELISA、SPR 測定、質量分析、試薬調製、微生物培養、細胞培養などのうちいずれかの実務経験、または、レーザー、光学顕微鏡、電子顕微鏡などの装置を使用した研究経験があること(特に HPLC の使用経験があることが望ましい)。
- 3) 協調性を持ち、個人の研究や業務のみならず、ラボ全体の活動に積極的に貢献すること。

4. 任 期

2023 年 3 月末まで

ただし当該任期後、当人の能力、勤務成績、勤務態度、従事している業務の進捗状況、契約満了時の業務量、予算の状況、その他諸事情を踏まえ、年度毎の更新で延長可(評価による)。最長 2026 年 3 月末日まで。

5. 採 用

採用決定後随時ご相談の上決定します。

6. 勤務条件等

【勤務時間】

原則週 5 日(勤務時間、勤務日数は応相談)

【雇用形態、給与】

公立大学法人大阪の就業規則および給与規程に基づき、採用候補者の研究業績、経験などをふまえて決定いたします。

7. 応募方法等

応募書類

- 1) 大阪公立大学研究推進機構の専用履歴書
写真貼付、様式は別添のものをご利用下さい。
- 2) 研究業績リスト(学術論文については査読の有無を記してください；書式自由)
※学会発表、学術論文、特許など可能な範囲で記載をお願いします。
- 3) これまでの研究概要および将来への抱負（書式自由、図面を含め各A4一枚程度）
- 4) 博士号取得者は（または取得見込み）証明書類があれば添付してください。

応募書類を、以下のアドレスまで電子メールに添付して送付下さい。

e-mail: ken-yamaguchi[at]omu.ac.jp （[at]を@に代えて送信願います。）

※メール件名は「LAC-SYS研究所スタッフ応募（お名前）」でお願い致します。

応募書類1)～4)はPDFファイルでご提出ください。手書きの書類をスキャンしてPDF化していただいても差し支えありません。その際は以下の例のようにファイル名を付けてメール添付してください。

(例：「公立大太郎」の場合、「書類番号_氏名.pdf」)

- 1) 履歴書：01_Koritsudai_Taro.pdf
- 2) 研究業績リスト：02_Koritsudai_Taro.pdf
- 3) 研究概要・抱負：03_Koritsudai_Taro.pdf
- 4) 博士号証明：04_Koritsudai_Taro.pdf

8. 提出期限

2022年9月22日（木）（提出書類は必着）

9. 選考

書類審査を行ったのち、面接審査をおこないます。審査結果は、合格者にのみメールにて連絡いたします。面接審査について、もし対面となった場合、面接のための旅費及び宿泊費等は応募者の負担とします。応募書類は本応募の用途に限り使用し、個人情報とは適正に取り扱い正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することはいたしません。

10. 問い合わせ先

大阪公立大学 LAC-SYS 研究所 特任教授 山口研一郎

e-mail: ken-yamaguchi[at]omu.ac.jp （[at]を@に代えて送信願います。）